

## (7) 平成29年度上期下水道事業の概況

### ア 建設事業の状況

既成市街地の汚水事業では、江戸川左岸流域関連下水道事業について、今年度整備予定面積約25ヘクタール（汚水管布設工事9件）全てを発注した。また、手賀沼流域関連下水道事業は、整備予定面積約3ヘクタール（汚水管布設工事3件）全てを発注した。

既成市街地の雨水事業では、向小金雨水幹線整備事業について、平成28年度に東日本旅客鉄道株式会社常磐線軌道下横断の工事延長約40メートルについて、同社と施行委託に係る協定を締結し、9月に完成した。今後、完成した軌道下推進管の上流及び下流に合流マンホールを築造する工事を実施する。

つくばエクスプレス沿線整備では、汚水及び雨水事業の土地区画整理事業者と業務委託を締結した。両事業の今年度整備予定面積は、汚水事業が23.1ヘクタールであり、9月末現在で70%を発注した。また、雨水事業が2.6ヘクタールであり、9月末現在で整備予定の約40%を発注した。引き続き地区内造成事業の進捗に合わせて整備を進める。

### イ 業務の状況

当期の排水区域人口は、157,950人で、前年同期に比べ8,501人（5.69%）の増加があった。

行政区域内人口と比較する普及率は、85.96%で、前年同期に比べ2.40%の増となった。

### ウ 経理の状況

上期における総収益は、1,773,354,063円で、前年同期と比べ154,920,756円の増額となった。総費用は、1,009,908,111円で、前年同期に比べ17,653,041円の増額となった。税抜きによる総収益1,701,664,126円から総費用1,007,728,557円を差し引いた当期の損益は、693,935,569円の純利益となった。

収益の内訳は、営業収益が1,194,161,386円で前年同期に比べ211,929,267円(21.6%)の増収となった。このほか、営業外収益は579,192,677円で、前年同期に比べ57,008,511円(8.96%)の減収となった。

次に、費用の内訳では、営業費用が802,331,562円で前年同期に比べ17,804,045円(2.27%)の増額となった。このほか、営業外費用は194,014,298円で、前年同期に比べ13,705,479円(6.60%)の減額となった。